

平成25年度第3回鳴門市児童福祉審議会 会議概要

日時 平成26年1月23日（木）午後2時～午後3時30分

場所 鳴門市役所本庁舎3階 会議室

出席者 委員13名、関係課・事務局職員12名

欠席者 委員2名

議事

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 鳴門市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査結果について

① 速報値について

「鳴門市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査結果について」のうち①速報値について、事務局から説明を行いました。

(委員)

ニーズ調査の結果として「必要ない」「希望はない」といった意見が多い設問が目立つが、「大多数の人が必要ない」としている事業は今後どのような扱いを受けるのか。

特に、「子どもをみてもらえる親族・知人がいない」と答えた人は少数派ではあるが、少数であることのみがニーズ調査の結果となるのか。

(事務局)

病児・病後児保育事業や一時預かり事業等、子育て支援事業の中にはそもそも、すべての人ではなく、事業を必要とする方を対象としたものがある。今回のニーズ調査結果として重視するのはこれらの事業を「必要としない人の割合」ではなく、「必要とする人と現事業との量的比較」や「必要とする人が利用できなかった理由」である。

(委員)

拠点事業を実施していたら保護者から感謝の声を聞かされることが多い。事業を実施するだけでなく、周知を徹底することが重要。

(委員)

育児休業給付等について「制度を知らなかった」と答えている人が多いが、これらの制度の周知はどのように行われるのか。

(事務局)

各事業所が行っている。

(委員)

各事業所で周知が徹底されていない可能性があるなら、行政として何らかの周知を図る必要があるのではないか。事業所を経由しないでも保護者は知る権利があると考えられる。

(健康福祉部長)

市として今回のニーズ調査の結果は子育てに関する部署で保有するだけでなく、商工政策課等他の関連部署にも積極的に情報提供を行い、今後の周知方法等の検討に役立てていきたい。

(委員)

鳴門の場合、幼稚園の利用を希望している児童は、かなりの割合で「幼稚園の預かり事業」の利用も希望していると思われる。これは、一般的には保育所利用希望者となるべきものであると考える。

(委員)

今回は速報値となっているが、今後ニーズ調査結果として「就業の有無による分類」や「親族等の支援の有無による分類」など細かい分析データは提供されるのか。

(会長)

審議会として分析データを指定することは可能か。

(事務局)

今後、区域の設定で必要となると思われる地区ごとの分類データや各種分析のためのデータの作成は必要になってくると考えているため、審議会の方々の御意見をいただいて作業を進めたい。ただ、各委員が求める分析データをすべて提供することでデータ量が膨大になり、会議に支障が生じると判断される場合は事務局で調整させていただくことになる。

(1) 鳴門市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査結果について

② 自由意見について

「鳴門市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査結果について」のうち②自由意見について、事務局から説明を行いました。

(2) 今後のスケジュールについて

事務局から今後のスケジュールについて、説明を行いました。

(委員)

条例設定準備とあるが、条例の内容について今回のニーズ調査の結果は反映する必要があるのか。

(事務局)

ニーズ調査の結果を反映する必要がある項目もあるが、基本的に放課後児童クラブや公立保育所の運営基準等、行政が責任を持って基準を決定すべきところが多い。

国からも「従うべき基準」と「参酌基準」が示されるものとなっており、それに基づいて市で独自に決定する事項について、審議会で報告し、承認や意見をいただくことになる。

4 その他

その他の事項として、北灘町の長寿寺保育園が平成26年度から休園することを事務局から報告しました。

5 閉会